## 楽しいクラス会

緑ケ丘A　一主婦

「私達が小学校を卒業したのは五十二年前でしたが、入学はそれより六年前のことで、今年もこうして入学クラス会に一同が集まれたことはうれしいことだし、先生お二人もお元気で出席して下さいまして、ありがとうございました」

今年の、私の入学クラス会の代表者が開会の挨拶をされた一部です。卒業クラス会では、事情があって転校した人が参加できないから、入学クラス会にします。

私達は大正十三年四月一日、桜の咲き乱れる中を、父母につられていそいそと入学したものでした。すでに老境に入ってますので還暦後は毎年、クラス会をしています。

年代順に、召集令状をうけて戦地に赴き、帰らざる人となった級友も沢山あり、クラス会も女生徒だった人が多いのです。

それぞれ、家庭ではよきおじいちゃん、よきおばあちゃんであろう級友一同、この日ばかりは童心に帰り、先生にはあまえるし、顔立ちのよしあし、頭のよしあし、金の有る無しなど抜きにして、つらく、悲しかった戦争中のことなど話せば、楽しい思い出になっていきます。

長時間が過ぎているものですから、子供達もそれぞれに家庭をもって、やれやれと腰をのばしていると、孫の入園祝だ、入学祝だと祝儀袋が殺到します。季節も花咲く春で、仕方ありませんな。

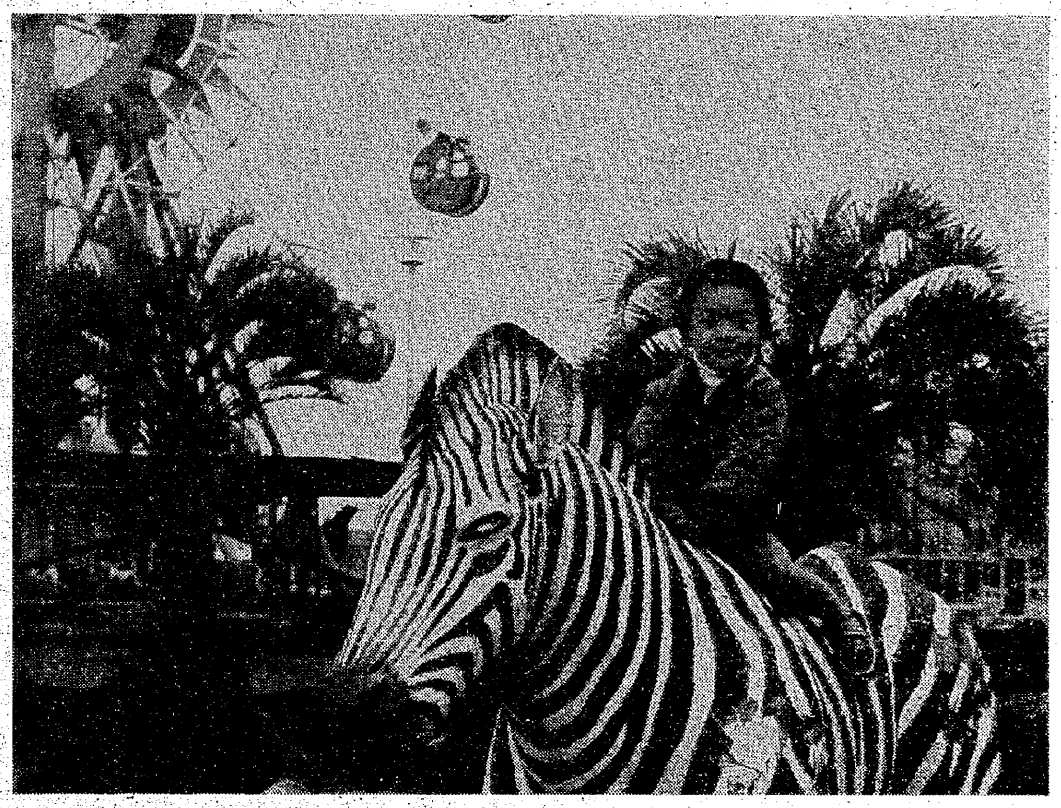
級友の中には家計を息子さん夫婦に渡して、詩吟を習ったり、踊りを習ったりしている人が多く、披露してくれました。童謡を合唱したり、最新の歌謡曲をいっしょにうたったりして、最後は校歌の合唱となりました。

へ遙るかに見ゆる阿蘇の峰
海抜四千五百九尺　長く流れる菊池川（きくせん）の　流れはおよそ十三里……

時のたつのを忘れ、夫を忘れ、闘いのことも横において楽しみました。

改めて健康の有難さ、生きていることのうれしさを切に思い、なるべく長生きして、来年また会いましょうと約束して、恩師は、同じ方向に帰っていく人がおくっていくことにして別れました。

クラス会は若返りの秘訣、長寿の薬。ほんとに楽しいもんです。



シマウマに乗つて、「どうだ」といわんばかり。

## 元三川指導部最後の統一行事
## 楽しかった――ひのくにランドレク

職場十二分会（三川）　芳川勝

毎年おこなわれてきた元三川指導部の統一行事は、三月十五日熊本県下の宇土の〝ひのくにランド〟で開催されました。そして、今年が元三川指導部最後の催しとなりました。

各分会から一名ずつ出てつくられた実行委員の、てきぱきとした指導で、定刻の九時大牟田の〝山源〟（旅館）前を、約二百名、バス五台で出発。南関経由で高速道路を南下。約二時間で〝ひのくにランド〟に着きました。

〝ひのくにランド〟は、大きく分けるとホテルにジャンボスタジアム、遊園地の三つがあり、私たちはさっそく本館のジャンボスタジアムへ。

青いプールとヤシの大群が広がる大ドームに目を見はり、二階の宴会場へ。酒宴。

なかには、定年退職されたなつかしい顔の参加もあり、私たちを指導してこられた元職場分会長や方違いのためめったに会えなかった人など元気な姿……。

もうすぐ定年になられる方の紹介についで、職場を代表して歌う人。そんなことで、宴会場から一歩も外へ出なかった人もいました。

ジャンボスタジアムでは、青いプールにペタル式ボートも浮かべられていて、子供の夢をさそうのでした。

宇宙大冒険館やプラネタリウムにスリラー館、お祭り広場ではクダモノの重さを当てるクイズがあって、当たった人にはクダモノが贈られていました。

遊園地では、人気のあるゴーカードやジェットコースターに、子供ならぬ大人が乗って悲鳴をあげ弥永さんは「ドマ（脱線の炭鉱語）するのではないかと思って、ヒヤヒヤした」、といいながらジェットコースターから降りてきました。

ストライガーでは、坑内力自慢の人が、ボンコシで力いっぱいたたくと、その圧力で玉がどれくらい上がるか、を競っていました。

ともあれ、ジャンボスタジアムのなかはさながら春の気分で、大人は長椅子でうたたね。子供たちはプールで水泳。ショッピング街では、愛する奥さんへのおみやげ買いか。それとも子供やマゴへのおみやげか。袋をいっぱいにしていました。

広い会場でした。

それでも、バスを定刻に出すのに努中された実行委員長、各委員の皆さんほんとうにありがとうございました。

菜の花や大根の花のまつ盛り。自然は今や春たけなわ。空気もさわやか。

## 四月の暦

うづき

1日　新学期。
この日国家総動員法が公布される（昭和十三年）。また売春防止法施行記念日。エープリルフール。
2日　図書館記念日。
4日　この日、日本台湾に出兵（明治七年）。やがて占領。
5日　清明。清浄明潔の略語で、万物清らかで、生き生きとしてくるところから。
6日　三池労組、この日出された藤村あっせん案を拒否（昭和二十五年＝三池闘争）。
7日　世界保健デーがスタート。
この日戦艦〝大和〟の最期（昭和二十年沖縄に出撃途中で。太平洋戦争）。
8日　灌仏会（花まつり）。
10日　婦人週間スタート。
11日　メートル法公布記念日。
12日　世界宇宙飛行の日（ソ連の人工衛生〝ボストーク二号〟が初めて打ち上げられた日。昭和三十六年）。
13日　科学技術週間スタート。
14日　この日独占禁止法公布（昭和二十二年）。
17日　土用。
18日　発明の日。
米軍の東京空襲始まる（昭和十七年＝太平洋戦争）。バンドンでアジア・アフリカ会議開催され、平和十原則を採択（昭和三十年）。この日三池労組三鉱連を脱退（昭和三十五年）。
20日　郵政記念日。
この日第一回参議院議員選挙（昭和二十三年）。
21日　炭労が結成される（昭和二十五年）。
28日　サンフランシスコ講和条約発効（昭和二十七年）。
三池労組中央委員会「長期抵抗路線にもとづく行動方針を確立」（昭和三十七年）。
29日　天皇誕生日。この日日経連発足（昭和二十三年）。
30日　この日南ベトナム解放軍サイゴンに無血入城（昭和五十年）。ヒットラー自決（昭和二十年）。

## 随筆
## 老人の生き方を思う
### いけ花グループの話し合い通じて

楓町　一主婦

私達楓町（荒尾市緑ケ丘）の遺族とCO患者の家族は、四、五年も前から生花の手習いを始めてきて分腕も上がり、楽しい話しで時間が過ぎていきます。

この頃は、新聞などで見た、ひとり住まいの老人の自殺の話しなども出ますが、お互いに家にとじこもらないで近所つき合いをしていこうと話し合っています。

近所の人達に声をかけてもらいたいと思うなら、まず自分の方から話したり、世話をしたり気をつけて、二度と得られない人生を、明るく、トシをとっても若い者に負けないようにといっていますが、なかなか体力的に勝てません。それでも人生に為になることは、若い者に教えてやるのも老人の仕事ではないか、と思います。

それにしても、この頃バスや電車の中で、若い者に席をゆずられても、「ありがとう」の一言もいわない、むしろゆずってもらうのがあたり前というような顔をしている老人を見かけますが、やっぱり「ありがとう」の一言で、ゆずった人にしても、後の気持がわかるのです。昔のことわざに、「ひとのふり見て、我がふり直せ」とあります。まず、若い者達にきらわれないようなおばあちゃんになることが第一と考えております。

先生の休みの時など思いおもいのいけ方でいけられるようになりました。

私達のグループは花を中に一週間に一度、話し合うのが楽しみになっています。一週間ごとにお茶の当番が変わり、手作りの茶菓子が出たり、漬物が出たり。おいしく、楽しく、またおしゃべりも長くなる次第です。

何回もお茶を入れかえ、話がはずむ中で、みんなおばあちゃんですので孫の話しや年金の話、それに裁判の話しなどでタネは尽きません。

旅行したらお互いにおみやげをもって来て、こんどは旅行先での

×

この月を卯月（うづき）ともいう。波流花（うのはな）がこの期に咲き始めるところから、うのはなを略称したという説あり。

たけのこ、木の芽、よもぎやわらびなどが食卓にならべられるようになって、春がくる。

「前半晴天の日多く、後半は寒冷な高気圧がはり出し、おそ霜のおそれ」（連合から）。

四月、春闘の最ヤマ場。思いっきり闘おう。

※　※